

# —漫画読むなら高橋留美子—

情報工学科 1年  
崎山 翔平

『うる星やつら』『めぞん一刻』『らんま1/2』など、数々の名作で人々を魅了してきた漫画家、高橋留美子。だが世代的にこれらの名作に触れていない方も多いのではないだろうか……？ ——なんて勿体ない。

そう感じたので作品に触れるきっかけにでもなればと思い、ごくわずかではあるがここで先生の作品を紹介したい。いや、是非ともさせて下さい。

## 【うる星やつら】 SF・ラブコメ (1978～1987)

先生の初期作品。タイトルとヒロインであるラムちゃんの認知度は抜群であると思うが、内容は知らないという方も多いかも。この作品、実にテンポのよいラブコメである。ラブコメと言っても恋愛要素は程々に抑えられており、コメディの要素がそのほとんどを占める。ラムをはじめとする個性的、魅力的なキャラが各話でドタバタを繰り返して、最終話まで飽きることがない。全34巻であるが、ワイド版で15巻にまとめられているので、ブックオフで上手く買えば1500円で全話読むことができる。

## 【めぞん一刻】 ラブコメ (1980～1987)

お薦め度 No.1! この作品を読んで時間を無駄にしたと思うことはまずないだろう。冴えない主人公に、面白おかしい住人達。美人の管理人さん。古い木造アパート「一刻館」を中心に展開されていく約7年間にわたる物語。ラブコメ漫画の金字塔。

序盤から中盤にかけてはコメディ要素が非常に強い。『うる星』に負けず劣らずな個性的なキャラの立ち振る舞いに腹を抱えて笑うこともある。後半は主人公の五代くんとアパートの管理人、響子さんの恋の行方から目が離せない。最後まで一気に読みたくなる作品だ。全15巻でこれも1500円で全巻揃う。

ツンデレな言葉はこの時代なかったと思われるが、響子さんを“初代ツンデレ”と私は勝手に呼んでいる。まあそれはさておき、何故あんなに中途半端なドラマ化をしてしまったんだ!

## 【らんま1/2】 ラブコメ・格闘 (1987～1996)

上の二作品よりは我々の世代に浸透しているのではないだろうか。水を被ると女の子になってしまう高校生の格闘家、早乙女乱馬。パンダになる父。その他、猫や豚、アヒルになったりと、やりたい放題のドタバタコメディ。全38巻。アニメではオリジナル回がやたら多いが、クオリティは低くない。今では超有名となっている声優が多数出演していた。山口勝平が名のあるキャラを演じたのは早乙女乱馬が初。

余談ですが、私は右京が大好きです。

## 【人魚シリーズ】 SF・シリアス (1984～1994)

シリアスを好む方にはコレ! 人魚の肉を食べて不老不死になってしまった湧太と真魚(まな)の旅を中心に、永遠の生による苦悩などを描いた作品。隠れた名作。全3巻なので揃えやすい。第3巻収録の『舍利姫』が個人的には特に好きです。

## 【犬夜叉】 SF・格闘・シリアス (1996～2008)

全56巻の大長編。我々の世代にはかなり浸透していると思うので、内容の紹介は割愛します。

以上、本当にごく一部ではありましたが、“るーみっくわーど”を主観たつぷりに紹介してみました。これらの他にも、短編集を含む名作が数多く存在します。現在も週刊少年サンデーにおいて『境界のRINNE』が好評連載中です。この記事で少しでも“るーみっくわーど”に興味を抱いて下さったのなら幸いです。

また、先生の作品について語れる方は是非、私まで一声お願いします。共に語りましょう!